

令和2年度 県立茅ヶ崎養護学校不祥事ゼロプログラム

○ 県立茅ヶ崎養護学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1. 実施責任者について

県立茅ヶ崎養護学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭・事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は校長・副校長・教頭及び事務長を補佐し、企画会議を通じてこれを推進する。

2. 年間計画(目標及び行動計画)について

課題	目標	行動計画	実施時期等
① 法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員の行動指針の周知徹底)	教育公務員としての自覚を促すとともに法令遵守に対する意識の向上を図る。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・新聞掲載記事の提示により不祥事防止の意識啓発を図る。	適宜
② パワハラ・セクハラ行為の防止	職員間のコミュニケーションの適正化と人権尊重意識の向上を図りセクハラやパワハラの芽を摘んでいく。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・人権教育校内研修会を実施する。教職員の人権尊重意識の向上を図る。	長期休業期間中等に設定
		・同僚間で注意しあえる風通しの良い職場づくりを進める。	適宜
③ 体罰、不適切な指導の防止	児童生徒に対する人権意識の向上を図るとともに教職員の特別支援教育の専門性の向上を図り個に応じたより適切な指導の実践に繋げる。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・児童生徒の「さん付け呼称」に組織的に取り組む	通年
		・校内研修や校内研究の充実を図ることで専門性の向上を図る。	通年
④ 入学選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	個別教育計画や指導記録等の個人情報掲載文書の作成、回議、配付、回収、保管を適切に行い事故の未然防止を図る。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・相互チェックを徹底し、資料の誤記やご配付の防止を図る。	適宜
		・情報セキュリティポリシーに基づいた適切な電子情報の取り扱いを徹底する。	適宜
⑤ 個人情報の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	情報セキュリティポリシーに則り電子情報や電子機器の適正管理の共通理解を図り事故不祥事の未然防止に繋げる。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・情報セキュリティポリシーに基づいた適切な電子情報の取り扱いを徹底する。	適宜
		・個別面談を通して不祥事防止に対する意識の持続と向上を図る。	1学期
		・学校管理の電子記憶媒体の棚卸しを定期的に行う。	毎週毎月
⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規遵守意識の醸成を図るとともに交通事故の発生、酒酔い・酒気帯び運転の未然防止を図る。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・飲酒の機会が増える時期等を捉えて必要な注意喚起を行う。	適宜
⑦ 業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	業務執行体制の見直しと改善を継続的に行う。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・業務の精選と仕組みや手続きの見直しを進めることで、日常業務に関連する不祥事の未然防止を図る。	適宜
		・校内ポータルサイト等を活用し情報共有の強化を図る。	毎日
		・起案文書や配付文書の相互チェックを徹底する。	毎日
⑧ 会計事務等の適正執行	・私費会計基準に則った会計事務の徹底を図る。	・未然防止対策として啓発資料や通知文書を活用したワンポイント研修を行う。	適宜 職員会議
		・会計担当者会を通して私費会計の適正処理の徹底を図る。	4月
		・回議を通して会計処理内容の相互チェックを行う。	毎日

3. 実施、検証について

- ・定例不祥事防止会議と位置づけている職員会議冒頭部分を中心に計画の実施と検証を継続的に行う。
- ・年度末に各自の自己評価を行い分析と検証の結果を職場全体で共有するとともに次年度の取り組みに活かす。

4. 実施結果について

- ・不祥事ゼロプログラム検証結果を本校ホームページに掲載する。